

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2025年6月15日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖 歌 6 2 7 「 恵 み の 高 き 嶺 」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖 歌 3 2 5 「 い と も よ き も の を 」	一 同
教会学校		牧 師
讃 美	聖 歌 4 7 8 「 世 人 の 咎 の た め に 」	一 同
聖書朗読	イザヤ7:10-17	
奨 励	イザヤ書の福音(第3回)	牧 師
主 題	「恐れず、神を待とう」	
讃 美	聖 歌 6 2 9 「 恐 れ な く 近 寄 れ と 」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖 歌 3 7 6 「 父 、 御 子 、 御 霊 の 」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	イザヤ書第 10 章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

6 / 15 (日) 聖日礼拝
/ 16 (月)
/ 17 (火)
/ 18 (水)
/ 19 (木) 10:00 聖研
/ 20 (金) 10-12: OBSカフェ
/ 21 (土) 13-16 子供会・ブランチ



《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に來れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

「イエスが私たちと同じように」

(デ・イポーシヨ誌 Manna ヘブル書第2回原稿)
(ヘブル2:11-13)

- ① あなたにとってイエス様はどのようなお方ですか？この質問にはいろいろな答があると思います。私の主、救い主、キリスト、真理、光、あるいは葡萄の木と答える人がいるかもしれません。全部正解です！でも、聖書を知らない人には不思議な答えに響くことでしょう。
- ② では、イエスご自身は私たちを何と呼んでおられるでしょうか？今日の聖書箇所には、私たちをご自分の「兄弟と呼ぶことを恥としない」と書かれています(11節)。これはむしろ“誇っている”という意味です。
- ③ 自分のような者がイエス様の誇る兄弟姉妹？と思うでしょうか。10節が答えています「多くの子たちを栄光に導くために、彼らの救いの創始者を多くの苦しみを通して完全な者とされたのは、万物の存在の目的であり、また原因でもある神に、ふさわしいことであつた」と。
- ④ 主イエスが「救いの創始者」として十字架の贖いの御業を成し遂げたのは、実に私たちを救うためだったと記されています。このようにして**救われたことを信じる人には様々な特権が与えられている**ことが次に挙げられています。
- ⑤ 第一に、**神の家族の兄弟姉妹とされること**です。というのは「**聖とする方(キリスト)も、聖とされる者たち(私達)も、みな一人の方(神様)から出て**」いる神の家族だからです(11節)。
- ⑥ 第二に、**父なる神をアバと呼ぶ特権**です。「**私は御名を、私の兄弟たちに告げよう**」とあります(12節、詩篇22:22)。イエス様は親しい祈りを捧げる時「**アバ、父よ**」と祈り始めました(マルコ14:36)。「お父ちゃん」を意味するこの言葉は、当時の人々にとって、父なる神への冒瀆にも響く、驚くべき親愛と信頼(13節前半)を表す呼びかけの御名だったのです。
- ⑦ 第三に、**解放の約束**です。「**見よ。私と、神が私に下さった子たち**」(13節後半)は何か尻切れトンボのような感じを受けますが、出典となっているイザヤ8:18,19で、直接にはイザヤの二人の息子を指しています。第一子の名前**シエアル・ヤシュブ**(イザヤ7:3)の意味は「**残りの民が帰って来る**」、第二子のマヘル・シャラル・ハシュ・バズ(イザヤ8:1)は「**敵は間もなく滅びる**」となります。**イザヤ**という名前が「**神はご自分の民を救う**」という意味である事を総合すると、「**神がご自分の民を救うとき、敵は間もなく滅び、残りの民が帰ってくる**」という驚くべき解放預言がこの短い引用句に込められていることになります。
- ⑧ 神である御子イエスが「**血と肉**」をとって人間の世界に來られたのは、私たちにこのような特権を与えるためであり、17,18節の御言はこのことを示しているのです：「**そういうわけで、神のことについて、あわれみ深い、忠実な大祭司となるため、主はすべての点で兄弟たちと同じようにならなければならませんでした。それは民の罪のために、なだめがなされるためなのです。主は、ご自身が試みを受けて苦しまれたので、試みられている者たちを助けることができるのです。**」